

# 第69回日本糖尿病学会年次学術集会 活動報告



The 69th Annual Meeting of the Japan Diabetes Society  
第69回日本糖尿病学会年次学術集会  
**IMA&INE** いのち輝く  
糖尿病の医療・医学を共に目指して  
**69th JDS**  
AASD2026 同時開催  
19th Scientific Meeting of Asian Association for the Study of Diabetes  
2026.5.21 thu-23 sat  
主催：下村 伊一郎 | 協賛：大塚国際会議場



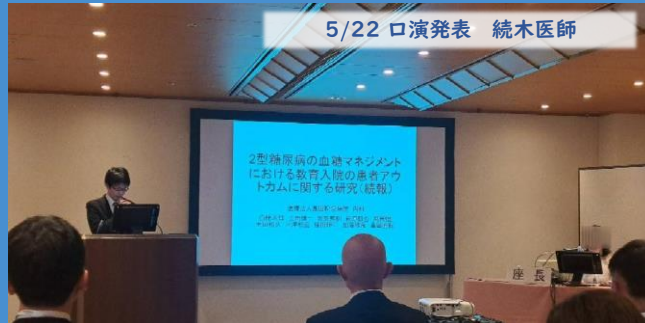
5/21 ポスター発表 萩原医師

「保存期慢性腎不全2型糖尿病患者に対する蛋白尿区分で評価したSGLT2阻害薬の有効性の検討」



5/21 ポスター発表 坂東医師

「大規模言語モデル(LLM)を用いた生成AIに1年間「SGLT2阻害薬の効能効果について教えて」もらったら？」



5/22 口演発表 続木医師

「2型糖尿病の血糖マネジメントにおける教育入院の患者アウトカムに関する研究（第2報）」



5/23 シンポジウム28

日本糖尿病学会×日本糖尿病医療学学会合同シンポジウム  
病気を考える医学、ひとに優しい医療③

外来看護師  
中野



ファシリテーター代表  
&  
フロアコーディネーター



今回も一般聴講席は満席に近い状態でした。医学と医療学それぞれのショートレクチャーがあり、東京慈恵会医科大学の西村理明先生の「どんな先進的なデバイスも、結局どう使うかは、人間による。AIにはできない!」というメッセージが印象的でした。

症例検討では、ステージでコメントーターを交えての討論、グループディスカッション席では10グループに分かれて今回のテーマ『治療機器の進歩と糖尿病を持つ人への支援』に沿って「糖尿病を持ちながらも、その人がその人らしく、幸せに人生を送るための医療」を検討されました。時間が足りない!との声が出る中でしたが、大盛況で終わることが出来ました。

満員御礼

大盛況でした!

